

EDR-24LX デキャップ・リキャップヘッドと SCI-PRINT SOLO 自動チューブラベリングシステムを用いた ラベリング・開閉栓・分注の全自動化

こんなお悩みありませんか？

毎日100本程の検体を処理しています。
処理数も多く、キャップの蓋も固めで開閉が困難な為、
作業が終わる頃には手が疲れてしまいます。

今までバーコードシール作成・貼付まで手作業でして
いたのですが、稀にヒューマンエラーが発生します。
この作業の自動化は難しいですよね？

そのお悩み、バイオテックの製品が解決します！

コンパクトワークステーション EDR-24LX デキャップ・リキャップヘッド搭載

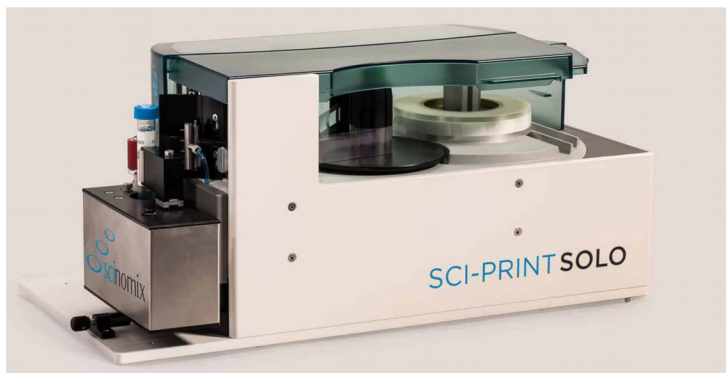
- ・クリーンベンチに設置可能なコンパクトサイズ
- ・ストレージチューブのキャップを自動開閉可能なヘッド
- ・1ch (10~1000 μ L) 分注機構と一体化、キャップ開閉と分注の連続作業の自動化を実現
- ・ヘッドはワンタッチで交換可能
交換することで、通常の分注装置としての使用も可能
- ・キャップ開閉機構は特注のため、各社のロボット対応チューブのキャップに対応可能



バイオテック製品・自動化システムのご相談・カスタムモデルのお問合せはこちらへ



自動でチューブへのラベル印字と貼付処理を高速で連続実行可能！
Scinomix社製 Sci-Print SOLO 自動チューブラベリングシステム



▲ Scinomix社製 Sci-Print SOLO

- ・0.5～50mLのチューブやバイアルに対応
1本あたり4秒での印字&貼付処理が可能
- ・システム付属のソフトウェアから自由に
ラベルのレイアウトができ、主要な
一次元・二次元バーコードを利用可能
- ・ソフトウェアで項目を定義し、CSV形式
外部ファイルやデータベースとの連携
によるデータのインポートが可能
- ・手作業によるヒューマンエラーを排除
省力化と生産性の向上を実現

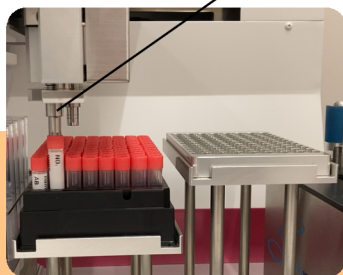
詳細はこちら ▼



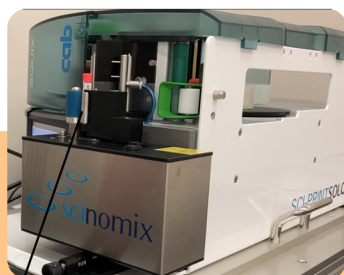
Scinomix社製 Sci-Print SOLOとのインテグレートで
ラベリング→開閉栓→分注、一連の作業を完全自動化可能

ポイント①

キャップ開閉機構を応用する
ことで、チューブの移送を
可能に！



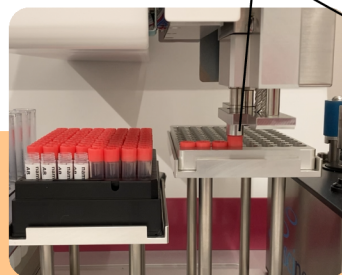
チューブの移送



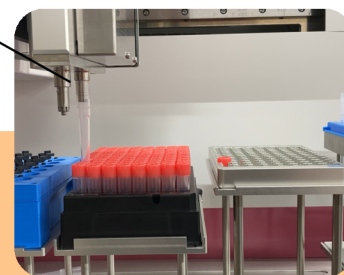
ラベルの印刷・貼付

ポイント②

1ch (10～1000μL) 分注機構と
一体化することで、キャップ開閉
と分注の連続作業の自動化を実現！



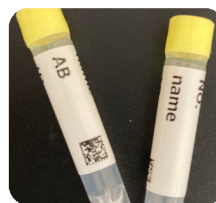
キャップの開閉栓



分注(1chのみ)

ポイント③

1本あたり4秒での印字&貼付
処理が可能！
ラベルレイアウトも自由自在！



本アプリケーションの
動画はこちら ▼



高精度な技術・豊富な開発経験で、拡大するアプリケーションの輪

バイオテックでは、ご好評いただいている数多くのラボオートメーション装置での開発経験を生かした
特注機器の企画・設計・製造も承っております。

マーケットにはない特殊なアッセイ（作業）の自動化や現行の作業工程の効率化をご要望に沿った形で
ご提案させていただきます。

